

製品名: SRA1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86904**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:26 kDa; Observed MW:36 kDa

抗原情報

遺伝子名	SRA1
別名	SRA; SRAP; STRAA1; pp7684
遺伝子ID	10011
SwissProt ID	Q9HD15
免疫原	ヒト SRA1 の合成ペプチド

背景

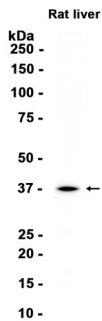
この遺伝子からは、長鎖の非コード RNA とタンパク質コード RNA の両方が転写され、選択的スプライシングを受けた転写バリエーション

トを形成します。この遺伝子は当初、複数の核内受容体（NR）の共活性化因子であり、乳がんとの関連が指摘されている非コード RNA として定義されていました。現在では、この遺伝子が代謝、脂肪形成、クロマチン組織化など、多くの NR および非 NR 活性の制御に関与していることが明らかになっています。長鎖の非コード RNA 転写産物は、この遺伝子によってコードされるタンパク質を含む様々なタンパク質と相互作用します。コードされるタンパク質は、非コード RNA に結合して転写抑制因子として作用します。
[RefSeq 提供、2012 年 3 月]

研究分野

-

画像データ



SRA1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してラット肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。